



HDD Car Navigation System

取付説明書

NVA-HD01

目次

安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2. GPSアンテナ取付	6
3. 接続する	7
4. ナビゲーション本体を取り付ける	12
5. 確認する	13
6. システム接続状況を知る	14
7. 取付角度を設定する	15

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお薦めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書、またIVA-D300Jの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。





注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



アンテナは、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



禁止



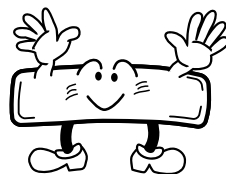
注意

ハードディスク（HDD）は強磁界に弱い為、ナビゲーションにスピーカーやGPSアンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。

1.はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げ店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード



家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。

カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。

白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について

“メモリスティック”の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。

- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

ナビゲーション取付用部品

サラネジ (M5×8) バインドネジ (M5×8)



×4



×4

GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(5m)



防水パッド
(GPSアンテナ用)



アンテナ取り付け
プレート



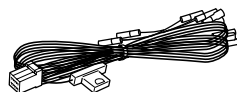
コードクランプ



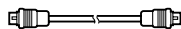
×3

コード類・その他

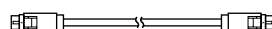
電源コード



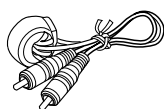
Ai-NETコード
(3.5m)



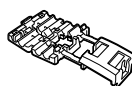
RGBコード
(5m)



COAXタイプ同軸
ケーブル (60cm)

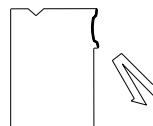


圧着コネクター



×3

取付角度測定用紙



2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。



Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

6 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、「4.ナビゲーション本体を取り付ける」で利用します。）



Memo

- ナビゲーションの付けかえ等でGPSアンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2.GPSアンテナ取付

〈ご注意〉

車種によっては熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスがあります。このガラスは電波を通しにくい性質がありますので、この場合は車外に取り付けることをおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。



- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの（磁気カード、時計など）には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- 洗車の際に、圧力がかかった水が直接アンテナにかからないようにしてください。アンテナ内部に水が侵入すると受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナ取り付けプレートは、車内用です。車外には使用しないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- 別売のETCユニットやビーコンユニット、GPSアンテナ等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーションともできるだけ離して取り付けてください。

1

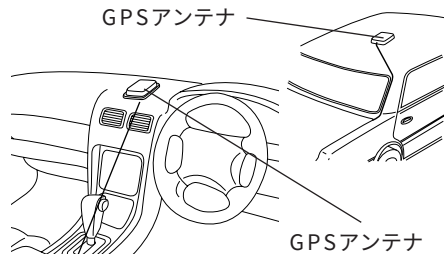
● アンテナをルーフに取り付けるとき。

貼り付け面の汚れを落としてから、アンテナを貼り付ける。

● アンテナをダッシュボード・リアトレイに取り付けるとき。

- ・ 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- ・ 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- ・ なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。

GPSアンテナ



取り付けプレート

2

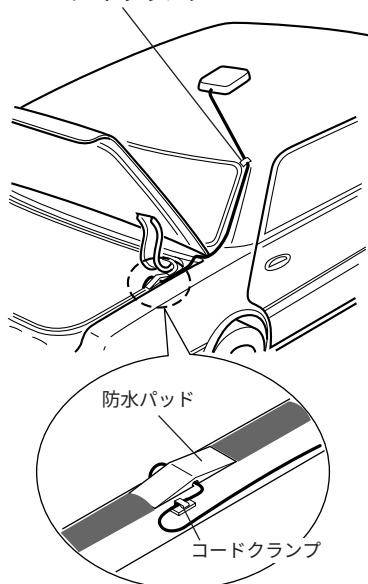
コードを固定する。

コードクランプでコードを固定する。防水パットの前後をコードクランプでコードを固定し、車の防水ゴムが接触する部分に、パッドを移動させる。



トランクの開閉で、防水パッドが移動しない様にコードクランプを固定してください。

コードクランプ



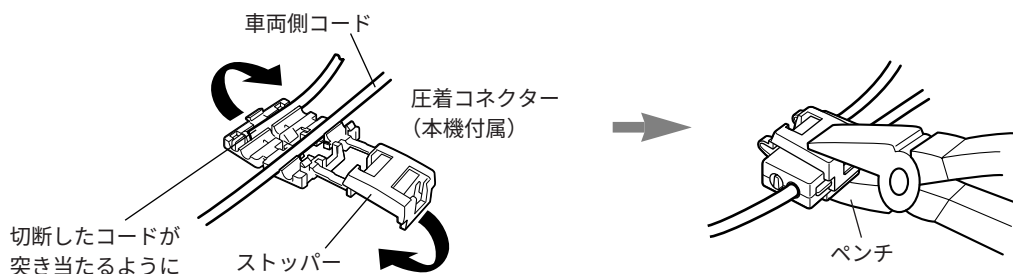
※上記例のような車の場合、図のようにコードを固定すると、さらにトランク内部に水が入るのを防ぎます。

3. 接続する ……接続するごとに ☐ OK に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。 必要に応じて圧着コネクタを装着する。



3 接続する。



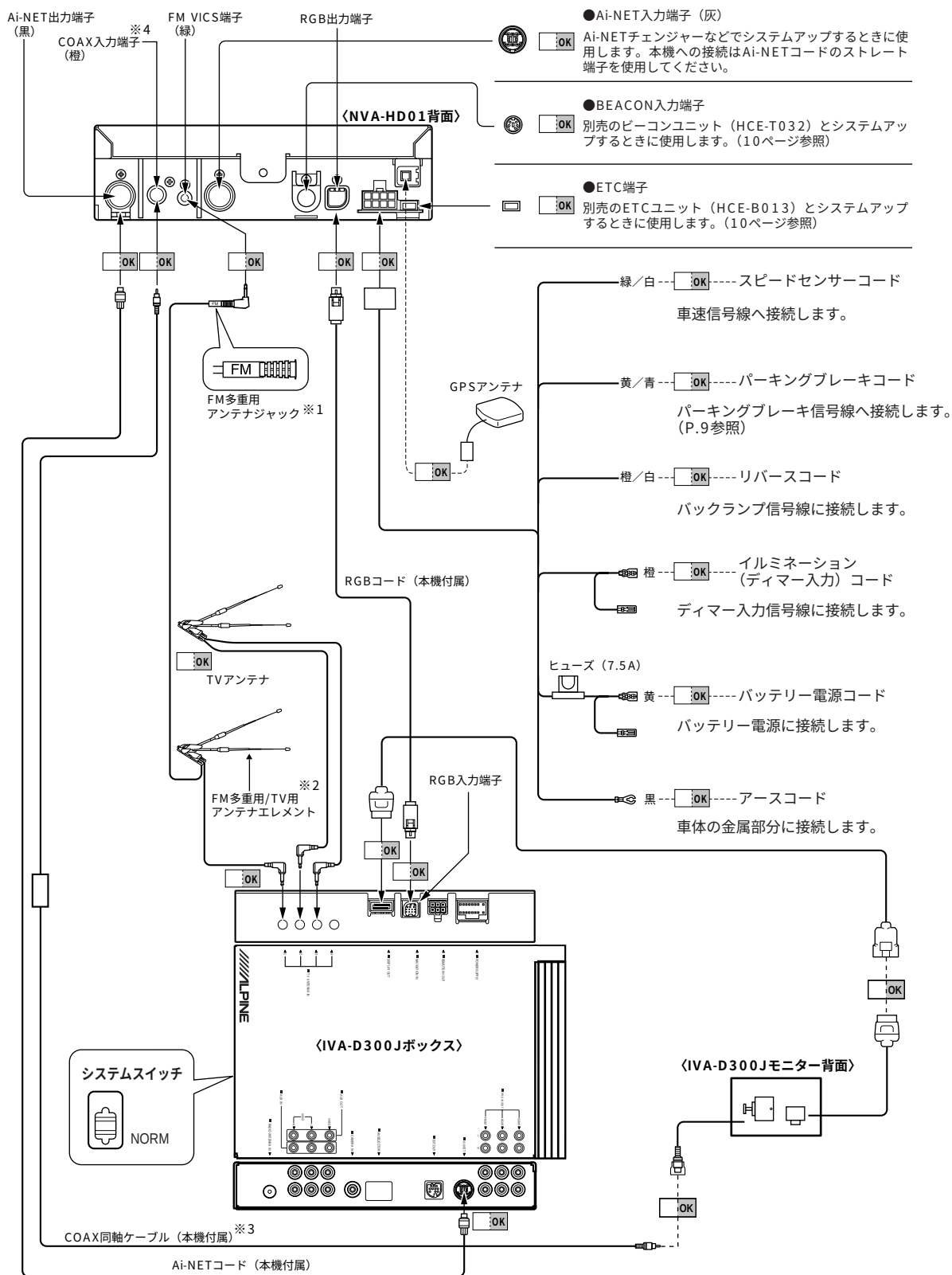
注意

正しい接続をする。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

基本接続図

●NVA-HD01とIVA-D300J、GPSアンテナ、TVアンテナの接続



- ※1 FM多重用アンテナジャックをFM VICS端子に接続する場合は、「奥までしっかり差し込んで」ください。差し込みが浅い場合は、FM多重放送の受信ができません。
- ※2 FM多重受信用としてお使いの場合は、TVをみていないときでもFM多重用のアンテナエレメントを伸ばしてご使用ください。
- ※3 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。
- ※4 COAX端子には、付属のCOAXケーブルを使用し、IVA-D300JのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



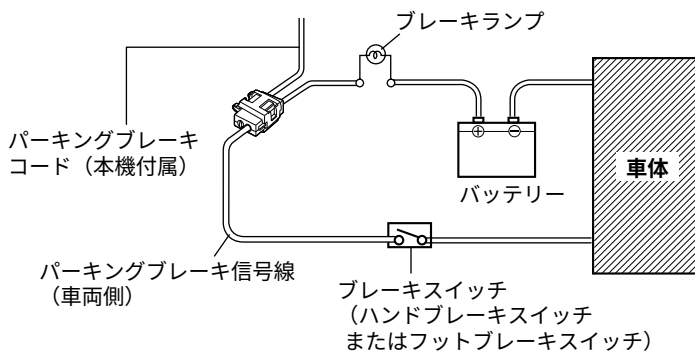
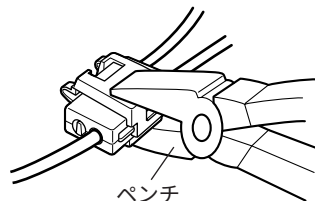
- 「FM」と標記されたアンテナジャック1本は、FM多重受信用として本機のFM VICS端子に接続し、残り3本のアンテナジャックはIVA-D300Jのチューナーボックスに接続しTVアンテナ用に使ってください。TVアンテナは、アンテナジャック3本でも十分な受信感度が確保されます。なお、「FM」標記しているアンテナジャックをTVアンテナへ接続しても問題はありません。
- TVアンテナコードはナビゲーション本体や他のコード類からなるべく離して配線してください。近づけたり、他のコード類と束ねたりするとノイズの原因になります。
- ナビゲーション本体とTVチューナーは、なるべく離して取り付けてください。

ビーコン (VICS)、ETCユニットの接続 ⇒ P.10

コード名称	補 足 説 明
イルミネーションコード (ディマー入力コード)	照明（ポジションランプなど）の状態を本機に伝えるため、照明（ポジションランプなど）をONにしたとき電源が供給されているところに接続してください。 メーター照明が調整できる車の場合：車の照明をONにして、画面が「ちらつく」ときは、他のコード（スモールライトコードなど）へ接続してください。
パーキングブレーキコード	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。
アースコード	車のボディの金属部分に確実に接続してください。不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。
スピードセンサーコード	走行距離を計測するために車速パルスを利用します。車速パルスコードは車種／年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響（ブレーキが効かなくなるなど）を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。（販売店での接続をお勧めします。）
バッテリー 電源コード	常に電源が供給される（バッテリー電源プラス）コードに接続してください。
リバースコード	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。シフトレバーのバック（R）に連動して、自車マークがバックするようになります。バックカメラ接続時には、シフトレバーのバック（R）に連動してバックカメラの映像に自動的に切りかえます。

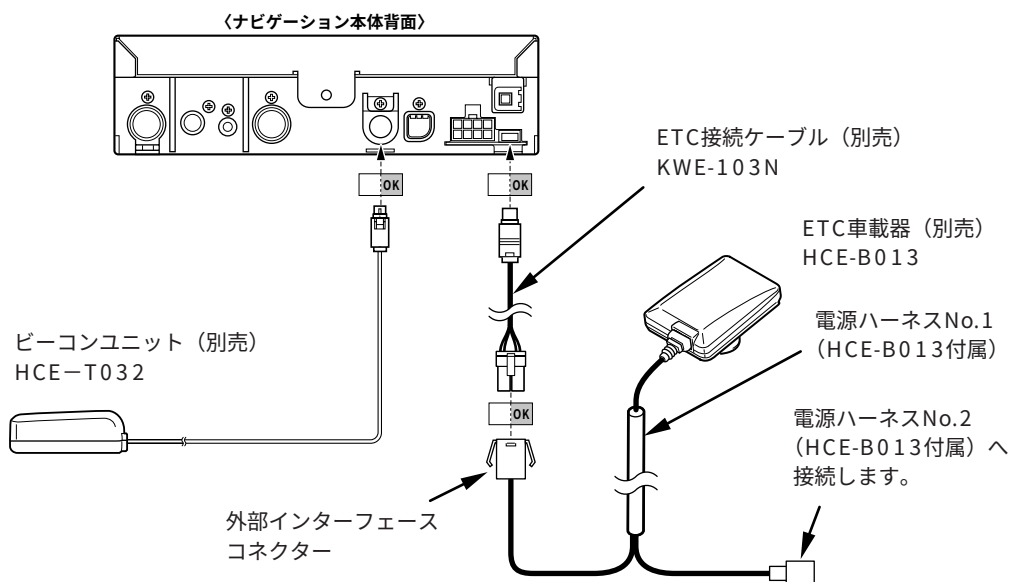
パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキコードを圧着コネクターを使用して接続する。
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。
・パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。



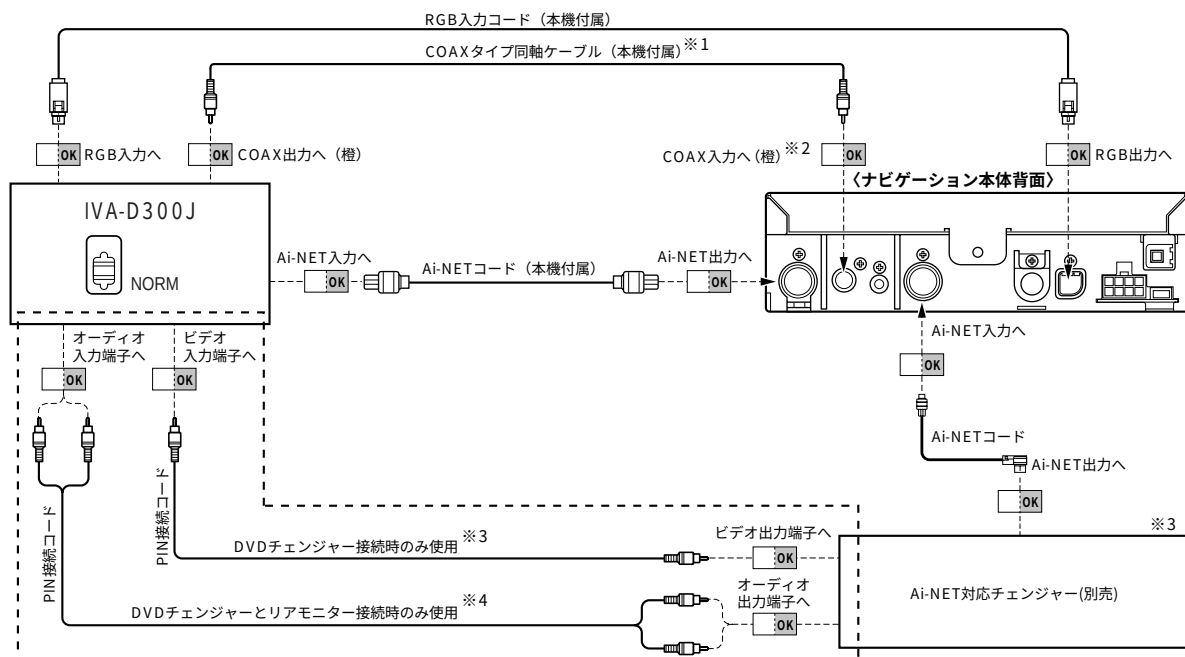
不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

●NVA-HD01と別売ビーコン（VICS）、別売ETCユニットの接続



- Memo**
- ビーコンユニット・HCE-T032をご使用ください。
 - ビーコンユニット・HCE-T102もご使用いただけます。HCE-T102に付属の通信／電源コード、接続コードは使用せずに、ビーコンユニット本体のコードを直接本機のBEACON入力端子に接続してください。
 - 別売ETCユニット・HCE-B013を接続する際、専用の別売ETC接続ケーブル（KWE-103N）が必要です。
 - 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

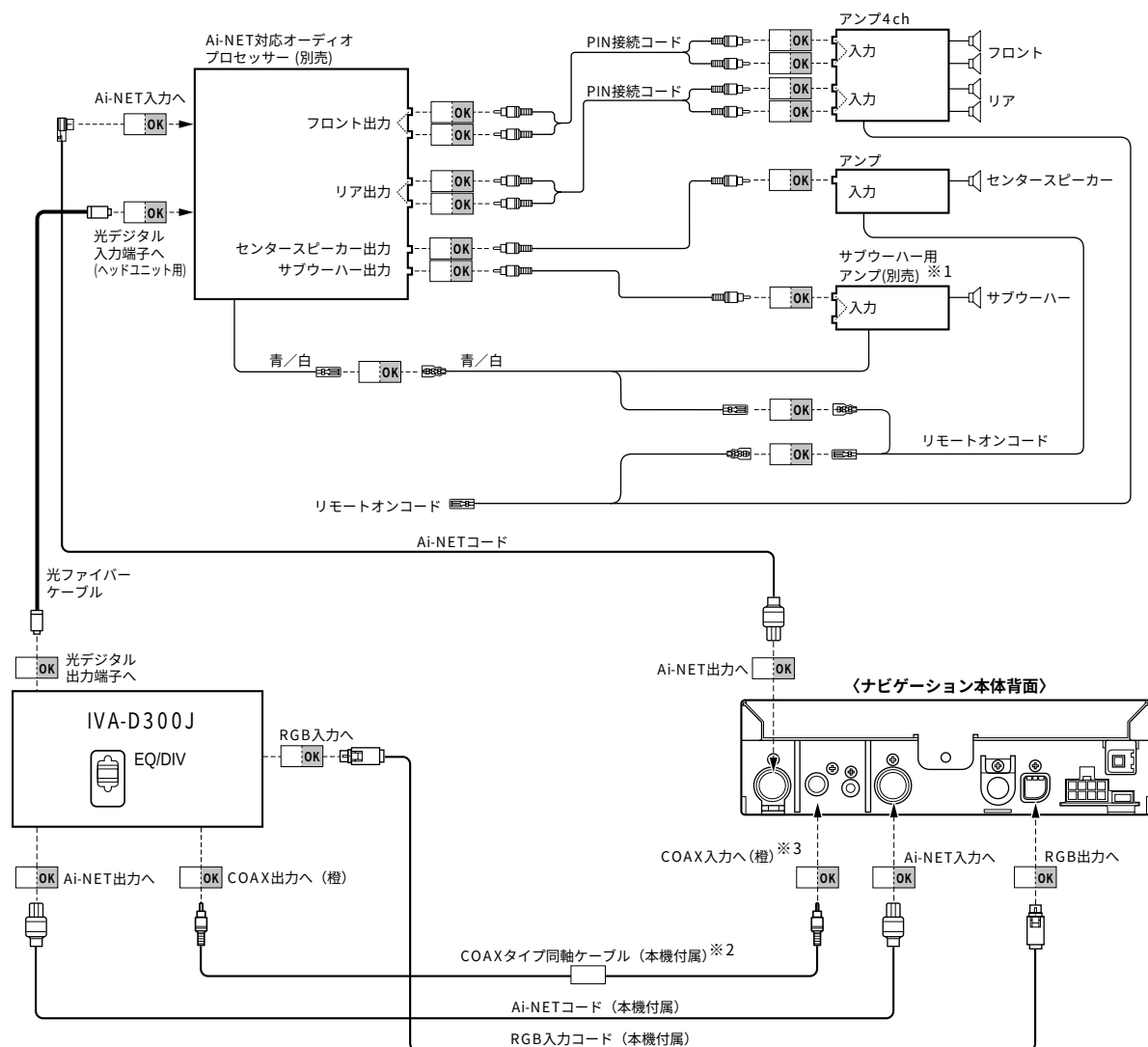
●NVA-HD01とIVA-D300J、チェンジャーの接続



- ※1 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。
- ※2 COAX端子には、本機付属のCOAXケーブルを使用し、IVA-D300JのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。
- ※3 DHA-S680接続時は、別売Ai-NETケーブル（KWA-030B）が必要になります。

- Memo**
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

●NVA-HD01とIVA-D300J、Ai-NET対応オーディオプロセッサの接続 (外部アンプ使用時)



※1 ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

※2 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。

※3 COAX端子には、本機付属のCOAXケーブルを使用し、ヘッドユニットのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 本機にAi-NETコードのL端子は接続できません。
本機とAi-NET対応オーディオプロセッサを接続する場合には、本機にAi-NETコードのストレート端子を接続してください。



注意

光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。

4 正しく接続されているか、✓ 点がもれているところはないか確認する。

5 バッテリーマイナス端子を接続する。

6 エンジンキーをON にしてIVA-D300Jと本機の電源を入れ、画面や音声为正しく出ているかなどを確認する。

固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。

7 IVA-D300Jと本機の電源を切る。

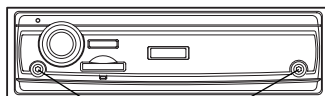
8 エンジンキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い(0℃以下) 場合ではHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。
- 下図のネジはHDDバージョンアップの時に使用します。通常は絶対に外さないでください。

〈ナビゲーション本体正面〉



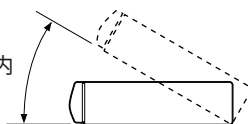
ネジ

＜ナビゲーション本体の取り付け角度＞

- 本機取り付け角度は、下記角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、HDDの故障の原因となります。
- 取り付け後は、必ず本機の取り付け角度の設定を行ってください。(「取付角度を設定する」(15ページ) 参照)
取り付け角度の測定方法は、添付の「取付角度測定用紙」に記載の測定方法を参照してください。

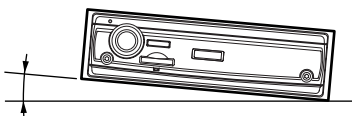
(側面)

40度以内



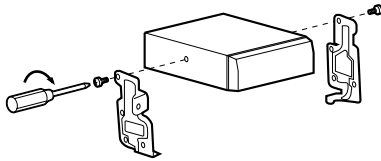
(正面)

±5度以内



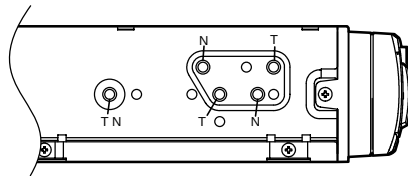
1 “メモリースティック” の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のサラネジでしっかり取り付ける。



付属のサラネジ（M5×8）以外でナビゲーション本体を固定した場合は動作不良の原因になります。必ず、付属のサラネジ（M5×8）を使用して取り付けてください。

取り付け用ネジ穴



N 穴→ニッサン車専用
T 穴→トヨタ・ミツビシ車専用

「日産車へ取り付ける際のご注意」

日産車へ取り付ける際は、本機付属の指定ネジ（サラネジ）または、弊社指定「取付キット（別売）」付属の指定ネジ（サラネジ）で取り付けてください。
指定ネジ（サラネジ）を使用しないで取り付けると故障の原因となります。

3 「ブラケットと一体になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。

4 パネル（インパネ）を取り付ける。



● 車両雑音から守るために

- ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。（ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる）
- ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5.確認する

1 コード類を固定する。

シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機ナビゲーションの動作が正しいことを確認する。

4 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

6. システム接続状況を知る

配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPS感度、車速、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。

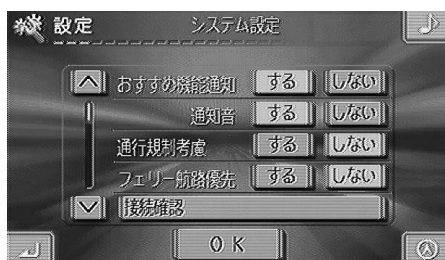
また、ナビゲーションの動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 **START** スイッチを押したあと、START画面で **メニュー** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

3 **システム設定** にタッチします。

4 **接続確認** にタッチします。



5 システム情報が表示されます。

▲ または **▼** にタッチするとページがスクロールされます。



6 **戻る** にタッチして、自転車位置画面に戻します。

7.取付角度を設定する

本機を取り付ける車種によって、下記の手順で取付角度を設定してください。正しく設定しておかないと、ジャイロセンサーの誤差が大きくなり、現在地の正確な位置補正ができません。

- 1 **START** スイッチを押したあと、START画面で **メニュー** にタッチします。
- 2 **設定** にタッチします。
- 3 **システム設定** にタッチします。
- 4 **▲** または **▼** にタッチして画面を切りかえ、「取り付け角度設定」を表示させます。
- 5 **取り付け角度設定** にタッチします。
- 6 **▲** または **▼** にタッチして「取付角度」を設定します。
0度から40度の範囲で設定が可能です。



- 7 **OK** にタッチして設定し、**戻る** にタッチして、自転車位置画面に戻します。



- 一度、取付角度を正確に設定したあとは、設定変更しないようにしてください。
- 添付の「取付角度測定用紙」を使用して、角度の測定を行ってください。



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

●Phone : 03-3779-0711 FAX : 03-3494-1767

●電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く9:30~17:30

●電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。

●ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。

●アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



古紙配合率70%再生紙を使用しています

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan(Y-532)

68-00493Z26-A